

## 令和元年第 13 回美唄市教育委員会会議録

1 と き 令和元年 9 月 24 日 (火)

午後 4 時 00 分～午後 4 時 31 分

2 ところ 市長会議室

3 出席委員

天野教育長 高橋教育委員 齋藤教育委員 土肥教育委員 今野教育委員

4 説明員

森川教育部長 阿部学務課長 高橋学務課長補佐 桜井学務課長補佐

日下学校給食センター所長 村上指導室長 谷村生涯学習・スポーツ振興課長

谷川生涯学習・スポーツ振興課長補佐 青木総務係長

5 開会

高橋委員を署名委員に指名

会期を 1 日と決定

6 議件名

議案第 46 号 教育長職務代理者の指名の件

議案第 47 号 美唄市立幼稚園保育料条例施行規則の一部改正の件

議案第 48 号 美唄市私立幼稚園の利用者負担額に関する教育委員会規則の一部改正の件

その他 1 令和元年度美唄市教育委員会の活動状況に関する点検・評価について

その他 2 令和元年第 3 回市議会定例会一般質問について

その他 3 市立栄幼稚園存続に伴うパブリックコメント手続きについて

## 概要記録

16:00

●森川部長 本日の教育委員会議の開催に先立ち、教育長の選任について、ご説明申し上げます。今月開催されました第3回市議会定例会本会議において、議会の同意を得て、9月21日付で天野政俊教育長が任命され、「教育長」として就任されることとなりました。ここから、天野教育長に議事進行についてお願いいたします。

●天野教育長 9月21日から教育長に任命されました、天野政俊でございます。先ほどお話しましたように、中央小学校で退職ということでしたので、当時高橋さんが教育委員で、何回か学校訪問等でお世話になりました。久しぶりに美唄ということで、しばらく離れていたのですが、再び美唄で教育に携わっていかれたと思います。力不足ではございますが、皆さんの力をお借りして精一杯頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。それでは、会議を進行させていただきます。それではただ今から、令和元年第13回教育委員会議を開催いたします。順序第1 会議録署名委員に高橋委員を指名します。次に順序第2 会議の日程については本日1日とします。次に順序第3 教育長報告、行事報告、行事予定について、事務局から説明をお願いします。

●森川教育部長 教育長報告等の前に、公務の為に会議に遅れる者が2名おります。村上指導室長と桜井学務課長補佐でございます。ご報告申し上げます。続きまして教育長報告についてご説明します。

※教育長報告（添付資料 別紙1）

※行事報告、行事予定説明（添付資料 別紙2）

●天野教育長 この件につきまして何かご質問はありませんか。

●各委員 ありません。

●天野教育長 なければ次に移ります。議案第46号 教育長職務代理者の指名の件について議題といたします。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項で、教育長に事故があるとき、または教育長が欠けたときは、あらかじめその指名をする委員がその職務を行うことが規定されております。また、教育長職務代理者指名については、美唄市教育委員会会議規則第2条で、教育長の職務代理者は、教育長があらかじめ指名する委員がその職を行うことになっております。早速ですが教育長職務代理者として、高橋泰浄委員を指名いたします。高橋委員いかがでしょうか。

●高橋委員 ただいまご指名をいただきましたが、お受けしたいと思います。

●天野教育長 ありがとうございます。それでは教育長職務代理者として高橋委員を選任することとします。よろしく願いいたします。次に議案第 47 号 美唄市立幼稚園保育料条例施行規則の一部改正の件を議題とします。事務局より説明をお願いします。

●阿部学務課長 それでは私から、議案第 47 号 美唄市私立幼稚園保育料条例施行規則の一部改正の件についてご説明申し上げます。本件は国の少子化対策の一環として令和元年 10 月から実施する幼児教育保育の無償化により、本市に住所を有し市立幼稚園に在籍する園児の保育料を無償化するための、必要な改正を行うものでございます。市立幼稚園は栄幼稚園一園です。栄幼稚園の保護者の方の保育料の無償化ということになります。先日の令和元年第 3 回市議会定例会において、幼稚園保育料の条例の一部改正の件で保育料 0 円とする改正を行ったところでございます。この教育委員会規則においては、47 号の真ん中から下のところにある「別表中」という言葉があると思いますが、「6,100 円を 0 円に、7,700 円を 0 円に、9,600 円を 0 円に改め、同表備考を削る。」という改正を行います。施行期日につきましては、「令和元年 10 月 1 日から施行する。」となっております。次のページをご覧ください。第 47 号の参考資料でございますが、新旧対照表がついております。新旧対照表の中ほどに「別表(第 2 条関係)」というのがございますが、区分 1、2、3、4、5、というのは所得の区分の割り付けになっておりまして、1 は生活保護世帯。2 は 270 万円以下の世帯ということで、市町村民税が非課税の世帯になります。3 の世帯は市民税の所得割額が 77,100 円以下の世帯、年収ベースで申し上げますと 360 万円以内ということになります。4 の世帯が 211,200 円以下の所得税割となりますが、680 万円以下の所得ということになります。5 が 680 万円以上の所得、というような形で区分けをされております。現在、保育料を負担いただいているのは区分 3 の世帯、360 万円以上の世帯になりますが、新の方では区分のところは全て 0 円となり、つまりは全体が無償化ということになります。それから備考につきましては子供が何人目はいくらという規定がありましたが、それが撤廃されまして、所得に関わらず保育料は無償化になる、そのような規則の改正でございます。以上です。

●天野教育長 今、事務局から説明がありましたが、委員の皆さまからご質問はありませんか。

●各委員 ありません。

●天野教育長 質問がないようですので、委員の皆さまにお諮りいたします。原案どおり可決することよろしいでしょうか。

●各委員 はい。

●天野教育長 それでは議案第 47 号 美唄市立幼稚園保育料条例施行規則の一部改正の件につきましては、原案どおり可決とします。続いて議案第 48 号 美唄市私立幼稚園の利用者負担額に関する教育委員会規則の一部改正の件を議題とします。事務局より説明をお願いします。

●阿部学務課長 それでは、議案第 48 号 美唄市私立幼稚園の利用者負担額に関する教育委員会規則の一部改正の件についてご説明申し上げます。本件は市立幼稚園の今の保育料条例と同様に、令和元年から私立幼稚園の保育料を無償化しようという規則改正でございます。子ども子育て支援制度というのは、私立幼稚園については保育料条例ではなく、また私立幼稚園自身が保育料を定めるのでもなく、制度が変わりまして、市が規則で保育料を定めるという制度に変わっております。教育委員会規則で、アカシア幼稚園、めぐみ幼稚園の保育料を定めているところでございます。先ほどと同じように「別表中」というところですが、「6,400 円を 0 円に、10,800 円を 0 円に、16,000 円を 0 円に改め、同表備考を削る。」という改正となっております。附則ではこの規則は令和元年 10 月 1 日から施行するということにしています。私立幼稚園については条例の制定が必要ないので、教育委員会規則で定めるというものになっています。次のページをご覧ください。新旧対照表になっていますが、公立幼稚園と同じ作りの表になっています。金額は違いますが、所得の区切りは同じというものです。旧の方では、6,400 円、10,800 円、16,000 円と保育料を定めておりますが、これらを 0 円にして備考を削る、という改正になっております。ここで、公立私立幼稚園両方の無償化の規則条例の整理ができるということになっています。私からは以上です。

●天野教育長 事務局から説明がありましたが、委員の皆さまからご質問等はありませんか。

●高橋委員 延長保育についてはどのようになるのでしょうか。

●阿部学務課長 延長保育、一時預かり事業と言いますが、私立幼稚園の預かり保育については今まで保護者から負担をいただいておりますが、今後は、幼稚園なのでどちらかと言うとお母さん方が、お母さん、お父さんが、働いていない家庭が多いかと思います。その中で今は 5 時半とか 6 時くらいまで、または早い時間、私立幼稚園は市の事業として幼稚園に委託して、一時預かり事業をやっています。この中で、お母さんかお父さんが月 48 時間くらいの勤務があった場合は、保育相当認定と言いますか、働いているお母さんということで、「私は働いていますよ」という認定をしてもらわなければなりませんが、幼稚園の部分についても一時預かり事業の

中で「私、働いています」という保育認定、「産休産後のお母さん」など、事情のある方については認定されると保育料が無償化、一定の金額の条件などありますが、無償化になるということです。前回の補正予算でもその費用について補正したところで、一部のお母さん、何人とは申し上げられませんが、無償化の対象となります。全員ではないですけど、フルでなくても働いているという認定ができれば、一時預かり事業の無償化の対象となります。

●天野教育長 よろしいでしょうか。

●高橋委員 はい。

●天野教育長 他にご質問はありませんか。

●各委員 ありません。

●天野教育長 それでは委員の皆様にお諮りいたします。この件について原案どおり可決とすることによってよろしいでしょうか。

●各委員 はい。

●天野教育長 それでは議案第 48 号 美唄市私立幼稚園の利用者負担額に関する教育委員会規則の一部改正の件につきましては、原案どおり可決とします。次にその他 1 令和元年度美唄市教育委員会の活動状況に関する点検・評価についてです。事務局より説明をお願いします。

●阿部学務課長 その他 1 令和元年度美唄市教育委員会の活動状況に関する点検・評価についてご説明申し上げます。1 枚めくっていただきまして「はじめに」というところがございしますが、趣旨につきましては、平成 20 年 4 月 1 日から教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、自ら点検・評価を行いまして、その結果について報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務づけられているところでございます。この点検評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされておりまして、外部の有識者からの意見を付けて評価をしてもらうという制度でございます。今回はこの点検評価、自ら自己評価をしたもの、分野で言いますと「学校教育」「社会教育」「社会体育」の分野で、「美唄市教育行政執行方針」に基づく事務を対象としまして、自ら点検を行ったものでございます。これを今回教育委員会議にお出しして、教育委員の皆さまにお目通しいただきまして、11 月の教育委員会議の時にはここに書かれております、「学校教育」では P T A 連合会会長の三澤祥子さん、「社会教育」では社会教育委員会委員長の小山内由紀子さん、「社会体育」ではスポーツ推進委員長の藤本和巳さん方に、それぞれこの点検・評価の結果を見ていただきまして、ご意見を付してもらうことになっております。このご意見を付して、議案として 11

月に改めて教育委員会の方には諮らせていただきたいと考えております。以上でございます。

●天野教育長 ただ今、令和元年度美唄市教育委員会の活動状況に関する点検・評価について説明がありましたが、委員の皆さまから何かご質問はありませんか。質問がなければ次に移ります。その他2 令和元年第3回市議会定例会一般質問についてです。事務局より説明をお願いします。

●森川教育部長 資料その他2 令和元年第3回市議会定例会の一般質問の概要について私の方から説明します。まず「日程」から、9月3日初日で本会議、一般質問が6日と9日、10日が常任委員会で11日が補正予算の予算審査特別委員会がございました。9月12日から祝日を除く18日まで決算審査特別委員会がございまして、9月20日本会議で終了となっています。2番目の「教育委員会関連案件」としましては、常任委員会としましては、「美唄市立幼稚園保育料条例の一部改正の件」、それから補正予算審査特別委員会としましては、「幼児教育無償化実施事業」「私立幼稚園施設型給付費負担金給付事業」というので、2件とも上程をいたしまして可決いただいております。それから議会終了後に議員協議会を開催いただきまして、栄幼稚園の存続に伴うパブリックコメントについてのご報告をさせていただきまして、若干の質疑を得た後、これについて9月24日から一か月間実施することとしているものでございます。3番目の「一般質問」についてでございますが、全部で10名の議員の方が一般質問に立ちまして、教育長職務代理者答弁といたしまして伊藤議員、川上議員、森議員の3名の議員が、教育長職務代理者答弁に係る質問をしております。この3名の方の教育委員会関連の質疑の概要について説明させていただきます。

#### ※一般答弁質問内容説明（添付資料 別紙3）

●天野教育長 令和元年第3回市議会定例会一般質問について説明がありましたが、委員の皆さまから何かご質問はありませんか。質問がないようですので次に移ります。次にその他3 市立栄幼稚園存続に伴うパブリックコメントの手続きについてです。事務局より説明をお願いします。

●阿部学務課長 パブリックコメントに関わる意見募集について説明を申し上げます。9月20日議会の最終日、本会議終了後に議員の皆さまに議員協議会の中でパブリックコメントに関する意見募集について、ご説明をしたところでございます。内容といたしましては、「美唄市立栄幼稚園については令和2年3月末をもって閉園する

条例改正を提案、決定しておりますが、同園は、アルテピアッツァ美唄の自然や彫刻に触れ合う中で、子どもたちの情操を育みながら幼稚園教育を行っており、こうした全国的にもあまり類のない、本市の特徴ある栄幼稚園を存続するための条例案を議会に提案したいと考えておりますので、次の案件について市民のみなさんのご意見を募集します。」という内容になっております。市立栄幼稚園存続に伴う「美唄市立学校設置条例の一部を改正する条例を廃止する条例」(素案)につきまして、これは必要な改正をしようとするものであり、改正条例案(素案)の概要、改正条例(素案)、新旧対照表、栄幼稚園の概要を参考資料として添付をして、意見を求めるものでございます。意見の募集期間は本日から10月23日までの一か月間としております。意見の提出者は市内にお住まいの方で、本案件に利害のある方ということにしており、意見の提出先については、教育委員会学務課としております。提出については持参、郵送、FAX、メールにより提出いただくことになっております。意見の検討結果につきましては11月中旬までに公表する予定としております。意見の提出用紙につきましては記載のとりの場所に置いて、更に市のホームページにも掲載しているところです。パブリックコメントの手続きの責任者は学務課長で、私が担当しております。次のページをご覧ください。目次の次の1ページをご覧ください。素案の概要ですが、今回提出する条例というのは、平成29年12月、第4回市議会定例会で議決をいただきました「美唄市立学校設置条例の一部を改正する条例」というのがあります。この一部を改正する条例というのは、栄幼稚園という表を削除してしまうという条例となっておりまして、これは令和2年4月1日施行ですから3月31日をもって、その表が無くなるという改正になっておりまして、その条例が施行する前に、この「美唄市立学校設置条例の一部を改正する条例を廃止する条例」というのを今回上げるということで、今、改正しようとするものを廃止する、という中身の条例となっています。四角の三つ目ですが、「幼稚園の安全確保対策等について」ということで、3点述べています。(1)園児の安全対策については、アルテピアッツァ美唄と同じ敷地内にあることから、指定管理者であるNPO法人アルテピアッツァ美唄と連携を密にしながら、園児の見守りなどの必要な対応を行い、しっかりとした安全確保を図ってまいります。としています。(2)園舎の老朽化対策については、園舎の木造2階建て校舎の1階部分を幼稚園園舎として活用していますので、今後とも、園舎の安全確保を図るために、必要な修繕・整備などを行ってまいります。としています。(3)少子化対応等をいうことで、少子化により園児の減少が見込まれますが、幼稚園と美術館の豊かな自然に触れて感動する体験や、園児が集団生活を通して人との関りを深めることも重要なことから、市内の保育園

や私立幼稚園との交流活動などを図ってまいります。としています。一番下の四角ですが、「園を運営していくため次の経費が必要となります。」ということで、経費を記載しております。(1)幼稚園管理運営費、光熱費・事務費等これに人件費を足した合計額が3,220万円となりますが、これは30年度の決算で栄幼稚園全体に関わってくる経費でございます。一年間の運営経費ということになります。(2)園舎の老朽化対策で、参考として平成10年度に大規模な校舎の改修を行っていますが、1億1,378万5,000円という金額となります。こういう園舎の強化対策を過去に行っています、ということです。この中身としましては、アルテピアッツァ工房の改修工事、それからトイレの改修、建築主体工事、トイレの電気設備工事、栄幼稚園の改修工事として保育園の床、ホールの床、廊下の床改修を行っている工事で、合わせて1億1,378万5,000円ということになっております。(3)今後、園児の安全対策等の経費が発生する可能性があります。として、経費は明示できませんが、今後そのような安全対策費用が必要になると述べております。次に2ページとなります。栄幼稚園の概要でございますが、これは今年度の栄幼稚園の園の運営計画から抜粋したものでございます。1番目、園児数ですが、現在男の子6名女の子11名の17名が在園しております。3番目の卒園児総数につきましては、30年度の5歳児13名を含めまして、累計で2,092名となっております。4番の運営方針については次のページ、3ページになりますが、10項目をあげて明示しております。「①幼稚園教育要領に基づいた教育課程、指導計画の改善に努め、保育の充実を図る。」という1点目から10点目「⑩私立幼稚園、保育所、認定こども園との相互理解に努める。」ということで、10個の目標を掲げて幼稚園経営を行っていくところです。次の4ページとなりますが、今回廃止する条例の素案となっております。「美唄市立学校設置条例の一部を改正する条例」、先ほど申し上げました栄幼稚園を削除するという条例になりますが、これについては廃止する、という条例の中身となっております。この条例の施行期日につきましては公布の日から施行するということで、年度末の前にこの条例を施行したいという考えだと思っています。5ページをご覧ください。今、私が申し上げた「別表第3 栄幼稚園」というのがまた戻るといった改正になっております。最後のページは意見書提出用紙となっております。これでパブリックコメントの意見を提出してもらう用紙となっておりまして、中断から下の方に意見を書いていただいて提出していただきます。いただいた意見については、11月中旬までに公表させていただく予定となっております。以上でございます。

●天野教育長 ただ今、市立栄幼稚園存続に伴うパブリックコメントの手続きについて説明がありましたが、委員の皆さまから何かご質問はありませんか。



●土肥委員 パブリックコメントを市内に設置するわけですけど、その時にこの素案と書かれている物から提出用紙のこの部分、全て閉じて渡されるということで理解してよろしいですか。

●阿部学務課長 今、提出しましたこのままが閉じて配布されて、置いてあるという状況になっていて、皆さん自由に持って行っていただいて、意見を出していただくということになります。

●天野教育長 他に質問はありませんか。

●各委員 ありません。

●天野教育長 質問がないようですので、その他3について報告を終了します。以上で本日の議事については終了しましたが、他に何かございませんか。なければ、これをもちまして令和元年第13回美唄市教育委員会議を閉会いたします。ありがとうございました。

16:31 終了

以上会議の顛末を記載し、その相違無いことを証するためここに署名する。

署名委員 高橋 泰浄

別紙 1

教 育 長 報 告

自 令和元年 8 月 21 日

至 令和元年 9 月 23 日

教育長不在のため、報告事項なし

上記のとおり報告する。

令和元年 9 月 24 日

美唄市教育委員会

教育長職務代理者 高 橋 泰 浄

## 8 月 行 事 報 告

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	対 象
22	木	第5回定例教頭・主幹教諭会議	9:30	第4会議室	関係者
23	金				
24	土	2019年度第1回美唄キッズ漢字検定	9:30	市民会館	市民
25	日				
26	月	キッズ・アスリートスクール⑧	16:30	総合体育館	市民
27	火				
28	水				
29	木				
30	金	リズムピクス⑥	16:20	ピバオイの里プラザ児童館	市民
31	土				

## 9 月 行 事 報 告

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	対 象
1	日	東明駅舎開放日	9:00	東明駅舎	市民
		郷土史料館見学ガイド	14:00	郷土史料館	市民
2	月				
3	火				
4	水				
5	木				
6	金	学校祭(美中・南中・東中)		学校	
7	土				
8	日				
9	月	キッズ・アスリートスクール⑨	16:30	総合体育館	市民
10	火	第6回定例校長・園長会議	9:30	第4会議室	関係者
11	水				
12	木				
13	金	リズムピクス⑦	16:20	児童館他	市民
14	土	おはなしの会ブックスタート(3歳児)	10:30	図書館児童室	市民
		美唄市婦人団体連絡協議会「第50回芸能発表会」	13:00	市民会館	市民
15	日	なつかしの映画上映会	14:00	郷土史料館	市民
16	月				
17	火				
18	水	第6回定例教頭・主幹教諭会議	9:30	第4会議室	関係者
19	木	なつかしの映画上映会	14:00	郷土史料館	市民
20	金				
21	土	おはなしの会ブックスタート(3歳児)	10:30	図書館児童室	市民
22	日				
23	月	第28回ピバオイヘルシーロードレース兼第24回美唄市ハーフマラソン大会	9:10	総合体育館前	関係者

# 10月行事予定

教育委員会

日	曜	行 事	時間	場 所	所 管
1	火				
2	水				
3	木				
4	金				
5	土				
6	日	東明駅舎開放日	9:00	東明駅舎	生涯学習・スポーツ振興課
		郷土史料館見学ガイド	14:00	郷土史料館	生涯学習・スポーツ振興課
7	月				
8	火				
9	水				
10	木				
11	金	リズムビクス⑨	16:20	児童館ほか	生涯学習・スポーツ振興課
12	土	おはなしの会ブックスタート（3歳児）	10:30	図書館児童室	生涯学習・スポーツ振興課
		第67回美唄市民文化祭謡曲大会	14:30	井門舞台	生涯学習・スポーツ振興課
		第58回市民体育祭（～14日）		総合体育館ほか	生涯学習・スポーツ振興課
		学芸会（中央小・峰延小）		学校	
13	日				
14	月				
15	火				
16	水	第7回定例校長・園長会議	9:30	第4会議室	指導室
17	木	なつかしの映画上映会	14:00	郷土史料館	生涯学習・スポーツ振興課
18	金				
19	土	おはなしの会ブックスタート（3歳児）	10:30	図書館児童室	生涯学習・スポーツ振興課
		第67回美唄市民文化祭総合展示（～20日）	9:00	総合体育館	生涯学習・スポーツ振興課
		学芸会（東小・南美唄小）		学校	
20	日	第67回美唄市民文化祭市民茶会	10:00	総合体育館ロビー	生涯学習・スポーツ振興課
		なつかしの映画上映会	14:00	郷土史料館	生涯学習・スポーツ振興課
21	月	キッズ・アスリートスクール⑪	16:30	中央小学校	生涯学習・スポーツ振興課
		第4回男女共同参画in美唄大会	13:00	総合福祉センター	生涯学習・スポーツ振興課
22	火				
23	水	第7回定例教頭・主幹教諭会議	9:30	第4会議室	指導室
24	木	第70回小・中学校音楽祭	9:30	市民会館	学務課
25	金	おはなしの会ブックスタート（3歳児）	10:30	図書館児童室	生涯学習・スポーツ振興課
		リズムビクス⑩	16:20	児童館ほか	生涯学習・スポーツ振興課
26	土				
27	日	第67回市民文化祭文芸大会	10:00	市民会館1階会議室	生涯学習・スポーツ振興課
28	月				
29	火				
30	水	第2回青少年指導員専任指導員会議	15:30	市長会議室	生涯学習・スポーツ振興課
31	木				

## 令和元年第3回市議会定例会

## 1 日程

会 期	月 日	曜日	会議別	事 項
第1日	9月3日	火	本会議	会期決定、諸般報告、議長報告、市政報告、例月出納検査報告、定期監査報告、条例・補正予算・決算認定案件上程、請願・陳情上程
第2日	9月4日	水	休 会	議案審査
第3日	9月5日	木	休 会	議案審査
第4日	9月6日	金	本会議	一般質問
第5日	9月7日	土	休 会	
第6日	9月8日	日	休 会	
第7日	9月9日	月	本会議	一般質問
第8日	9月10日	火	休 会	常任委員会
第9日	9月11日	水	休 会	予算審査特別委員会
第10日	9月12日	木	休 会	決算審査特別委員会①
第11日	9月13日	金	休 会	決算審査特別委員会②
第12日	9月14日	土	休 会	
第13日	9月15日	日	休 会	
第14日	9月16日	月	休 会	
第15日	9月17日	火	休 会	決算審査特別委員会③
第16日	9月18日	水	休 会	決算審査特別委員会④
第17日	9月19日	木	休 会	委員長報告作成日
第18日	9月20日	金	本会議	委員長報告、人事案件上程、意見書案上程、請願・陳情上程

## 2 教育委員会関連案件

【常 任 委 員 会】・美唄市立幼稚園保育料条例の一部改正の件

【予算審査特別委員会】・幼児教育無償化実施事業 ・私立幼稚園施設型給付費負担金給付事業

【議 員 協 議 会】・栄幼稚園の存続に伴うパブリックコメントについて

## 3 一般質問

順序	会派	質問者	質問要旨	質問日
1	市民交流クラブ	伊藤 真久議員	1 ふるさと納税について 2 炭鉄港について 3 教育行政について<教育長職務代理者答弁> (1) 栄幼稚園の存続について	9月6日
2	令和議員会	川上 美樹議員	1 市長公約について 2 地域行政について 3 教育行政について<教育長職務代理者答弁> (1) 文化財について	
3	みずほ議員会	松山 教宗議員	1 市長公約の進行管理と財政運営について 2 立地適正化計画について 3 特別職について	
4	無 会 派	山崎 一広議員	1 市長の政治姿勢について 2 特別職の選任について	
5	市民交流クラブ	齋藤久美夫議員	1 第6期美唄市総合計画について 2 自衛隊について	
6	令和議員会	楠 徹也議員	1 市長の公約について 2 行財政運営について	9月9日
7	無 会 派	紫藤 政則議員	1 人事行政について 2 消費増税と地域経済について 3 環境行政について	
8	市民交流クラブ	森 明人議員	1 美唄市立図書館について<教育長職務代理者答弁> (1) 図書館の利用状況及び各種事業の実施状況について (2) 指定管理者制度の導入による利用状況の変化について (3) 図書館利用者に対する利用実施及びニーズ等の把握について	
9	無 会 派	本郷 幸治議員	1 美唄市長の公約について	
10	市民交流クラブ	山上他美夫議員	1 市立美唄病院建設について 2 空き家・空き地対策について	

平成 31 年 第 3 回 定例会 一般質問

伊藤 真久 議員  
教育委員会学務課

件 名            3     教育行政について

中項目          (1)    栄幼稚園の存続について

質問内容

①入園を希望するご家族への対応について

ア 栄幼稚園の存続の方針が示されてから、栄幼稚園に入園を希望する家族などから様々な問合せが来ていると思うが、どのように対応しているか。また、栄幼稚園の閉園決定から、市立幼稚園の機能を認定こども園ひまわりに移行を進めていたと思うが、教育委員会としてはどのような対応をしているのか、あるいはする予定なのか。

答弁内容

(入園を希望する保護者への対応について) であります。閉園の場合は、令和 2 年 4 月から認定こども園、私立幼稚園、保育所等に転園していただくことをご了承していただいた上で、入園受け入れのご説明をしているところであります。

次に、受け入れ体制についてであります。認定こども園ひまわりの長時間保育の保育所機能の定員を 30 人から 20 人として、10 人減らし、短時間保育の幼稚園機能の定員を 5 人から 15 人に 10 人増とする条例改正を行い受入体制を整えてきたほか、私立幼稚園 2 園にも受け皿としての役割を担っていただくよう要請したところであり

ます。

また、小学校教育との円滑な接続のための取組や幼児期における特別支援教育などについて、これまでの経験や知識などを認定こども園ひまわりに引き継ぐ予定としていたところであります。

平成 31 年 第 3 回 定例会 一般質問

再質問

伊藤 真久 議員  
教育委員会学務課

件 名            3     教育行政について

中項目          (1)    栄幼稚園の存続について

質問内容

- ①今後、栄幼稚園の存続に向けて、どのようなプロセスを考えているか伺う。
- ②私立幼稚園に受け皿としての役割を担っていただくよう要請したとのことですが、それはいつの時点で要請し、2 園からどのような回答を得ているのでしょうか。

答弁内容

（栄幼稚園の存続に向けた今後のスケジュールについて）であり  
ますが、

- ①栄幼稚園存続に伴うパブリックコメント手続きを経て、第 4 回市議会定例会に「美唄市立学校設置条例の一部を改正する条例を廃止する条例案」をご提案させていただき、ご審議を頂きたいと考えております。
- ②次に、私立幼稚園との協議につきましては、平成 29 年度に開催しました市内幼稚園長会議において、栄幼稚園の閉園や特別支援教育の推進、市内幼稚園、保育所の連携、園児募集の状況などについて、情報交換や協議を行っており、この中で受け皿としての役割を



要請し、御承諾をいただいた上で、この対応を含め、今後とも連携を図りながら進めていくことを確認しているところであります。

平成 31 年 第 3 回 定例会 一般質問

川上 美樹 議員

教育委員会生涯学習・スポーツ振興課

件 名            3    教育行政について

中項目        (1)   文化財について

質問内容

1 つ目は、日本遺産に認定された、東明駅舎と S L についてです。

かつて 9 万人の人口を誇った本市は、まさに石炭産業で栄え、その産業遺産は、空知では石炭、また室蘭では製鉄、小樽では港と、道央圏における、石炭、鉄鋼、港湾というテーマを鉄道で結び、かつて、北海道の発展に大きく貢献した北の産業革命といわれる「炭鉄港」は、新たな人のつながりを作り、地域の活性化をめざそうと、空知総合振興局を初めとした取り組みが 2010 年から行われており、本市も炭鉄港の取り組みについて推進してきたところであります。

この事につきましては、同僚議員から、今ほど、質問があったとおりで、本市におきましては、文化庁から日本遺産として、5 月 20 日に、4 つの遺産が認定され、その中に、東明駅舎と S L 蒸気機関車があります。そこで質問ですが、

1 点目は、日本遺産に認定された東明駅舎、S L についての考え方はどのようなものか。

2 点目は、老朽化の激しい駅舎の修繕や S L の塗装など、保存に対

しての市の考え方です。

現在は、毎年、地元の保存会の皆さんが、草刈りや花植え、清掃を行い、一部できる範囲での修繕も行っておりますが、どうしても限りがあります。ＳＬも毎年ボランティアで塗装のし直しを行っておりますが、市としてこの、修繕などに対する考え方はどのようなものか、市長に伺います。

#### 答弁内容

（日本遺産に認定された東明駅舎とＳＬに対する考え方と修繕について）であります。

はじめに、東明駅舎とＳＬに対する考え方については、現在、本市にあるＳＬは、市指定の有形文化財となっており、今年の５月２０日からは、東明駅舎とあわせ、日本遺産の構成文化財にもなっています。

平日でも、全国から鉄道ファンや、鉄道の操業時を懐かしむ方が訪れており、今年の５月から始めている第１日曜日の半日駅舎開放、延べ５回の合計で２６０名以上の見学者が訪れており、これまで市で考えていたよりも、注目度が非常に高いものであると認識したところですので、今後も、地域の宝物として、後世へ引き継ぐための保全とあわせ、市の地域資源として活用してまいりたいと考えております。

次に、東明駅舎とＳＬの修繕についてですが、それぞれについて、老朽化が進んでいるのが現状で、地元団体や企業などの協力をいただきながら、最低限の維持修繕をしてまいりました。

今後は、日本遺産の構成文化財でもあることから、施設や車両の状況について、専門的な知識のある企業などの協力をいただきながら、状態を見定めつつ、適切な保全に努めてまいりたいと考えております。

平成 31 年 第 3 回 定例会 一般質問

再質問

川上 美樹 議員

教育委員会生涯学習・スポーツ振興課

件 名            3    教育行政について

中項目        (1)   文化財について

質問内容

過去の一般質問にて、文化財の維持保全に、クラウドファンディングを活用するよう検討すると聞いていたが、東明駅舎とＳＬの修繕について、市単独ではなく、東明駅保存会などの地元団体との協力関係を持つ方が、目標達成につながると考えるが、教育長の考えについて伺いたい。

答弁内容

（文化財のクラウドファンディングに対する協力体制について）  
であります、  
文化財などを適切に保存するための様々な財源確保の一つの方法に、クラウドファンディングがありますが、実際にクラウドファンディングを行う際には、関係する地元団体の協力があることで、目標額の達成に非常に近づくものであると考えております。

現在、駅舎やＳＬの修繕について、専門知識のある企業に対し、概算額の調査を依頼しているところでありますので、金額などがまとまりましたら、クラウドファンディングの実施に向けて、関係す

る団体等と相談しながら、多くの方々に協力が得られよう、取り組んでまいりたいと考えております。

平成 31 年 第 3 回 定例会 一般質問

森 明人議員

教育委員会生涯学習・スポーツ振興課

- |     |     |                         |
|-----|-----|-------------------------|
| 件 名 | 1   | 美唄市立図書館について             |
| 中項目 | (1) | 図書館の利用状況及び各種事業の実施状況について |

質問内容

図書館について、

(1) 現在の年代別の利用状況について、平成 29 年度、平成 30 年度の数値がどうか

(2) 図書宅配サービス及び移動図書館の利用者状況について、その数値や課題はあるのか

(3) 第三次美唄市子ども読書活動推進計画 美唄市子ども読書プランが、平成 28 年 3 月に制定されているところですが、美唄市は、図書館とどのような取組をしているのか。また、ブックスタート事業など、家庭・地域・学校におけるここまでの取り組みや成果はどのような様子か

答弁内容

(図書館の利用状況及び各種事業の実施状況について) であります、

はじめに、年代別の利用状況についてですが、

平成 29 年度では、年度末の総人口が 21,987 人に対し、延べ利用者が 14,638 人、うち幼児が 1,474 人、小学生が 1,286 人、中・高

校生が149人、19歳以上50代までが4,871人、60代以上が6,858人でした。

平成30年度では、年度末の総人口が21,390人に対し、延べ利用者数が13,784人、うち幼児が1,378人、小学生が1,260人、中・高校生が161人、19歳以上50代までが4,733人、60代以上が6,252人でした。

平成29年度と平成30年度の比較では、人口減少の割合を換算しても、利用者が微減となっているところです。

次に、図書宅配サービスや移動図書館についてですが、

図書宅配サービスは、指定管理者による自主事業ですが、平成30年11月より開始し、平成30年度末で10名が登録し、233冊を貸出ししております。

移動図書館については、平成29年度は、延べ利用者数2,073人、貸出冊数5,254冊で、平成30年度は、延べ利用者数2,145人、貸出冊数5,352冊で、それぞれ72人、98冊の利用増となっております。

増加の要因としては、利用者の少なかった2か所を止め、児童などの利用可能性がある1か所を新たに巡回場所としたため、利用増につながったものと思われます。

課題としましては、両事業とも認知度が低いことが考えられるため、今後も周知活動を継続してまいりたいと考えております。

次に、美唄市子ども読書プランに係る取り組みについてですが、

計画には、4つの方針の基で、ブックスタート事業、保育所や児童施設への団体貸出し、蔵書の充実、図書館の相互連携、子どもの読書活動についての広報活動など33の具体的な施策があり、現在、これらを推進しているところでありますが、ボランティアの育成などについて、十分な進捗が図れてないものもあるところです。また、ブックスタート事業については、幼児から本に触れる機会の提

供が出来ているものの、配布後の家庭における絵本の読み聞かせの状況などについては、十分な確認に至っていないところであります。

いずれにいたしましても、子どもたちが言葉を学び、豊かな情操を育むなど、読書の果たす役割は計り知れないものがありますので、子どもたちの発育段階に応じた読書体験ができるよう、計画の推進に努めてまいりたいと考えております。



平成31年 第3回 定例会 一般質問

再質問

森 明人議員

教育委員会生涯学習・スポーツ振興課

件 名           1     美唄市立図書館について

中項目       (1)     図書館の利用状況及び各種事業の実施状況について

質問内容

① 図書館の利用状況について

利用者及び貸出冊数が減っているが現状を踏まえどのような対策をとっているのか？

③ 美唄市子どもプランについて

平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」第二条により、「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」と定めたうえ、平成14年8月に国はこの法律に基づき「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を策定し、美唄市に於いてもこの法律等に基づき、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる

場所において自主的に読書活動ができるような環境を整えることを目的に、平成17年3月に「美唄市子ども読書活動推進計画」を策定されました。

2次計画での成果及び課題を踏まえて、平成28年度から5年間を計画期間とする「第3次美唄市子ども読書活動推進計画」を策定されています。本計画に基づき、子どもたちが発達段階に応じて本

に親しみ、自主的に読書を行い、生涯にわたる読書習慣を身につけられるよう、市立図書館が中心となり、家庭、地域、学校等が互いに連携・協力し、子どもたちの読書環境の整備を図るなど、地域社会全体で子どもの読書活動を推進するよう取り組むとなっております。

・上記を踏まえて年代別で 0～18 歳の利用状況及び貸出し冊数が減少しているのはどのような理由があるか。

・市立図書館が中心となってと在りますが、市立図書館は「美唄市子ども読書活動推進計画」を把握しているのか。

・「第 3 次美唄市子ども読書活動推進計画」基本方針に、図書館から学校等へ図書や資料などの貸出、図書館司書による学校等への訪問、図書館と学校図書館等の連携、図書館と幼稚園・保育所・子育て支援センター・保健センターとの連携のネットワークは整備されているのか。

#### 答弁内容

（図書館の利用状況と美唄市子ども読書プランについて）であります、

はじめに、図書館の利用状況への対策につきましては、平成 30 年度に図書購入費の増額を行ったことから、利用者の要望を踏まえた蔵書の増加が図られ、今年の 4 月から 7 月の利用者数は、指定管理制度への移行前の利用者数を超過しており、利用者の回復傾向にあると思われます。

引き続き、利用者の希望などを把握しつつ、蔵書の充実に努めたいと考えております。

次に、美唄市子ども読書プランについて、まず、0 歳から 18 歳までの利用状況についてですが、

0～18歳の利用状況及び貸出し冊数の減少については、テレビ、インターネットなど情報を入手する媒体が目まぐるしく変化し、その情報量も著しく増え、検索する指向も選び出せる状況となっていることから、本によって知識を学ぶ意識が薄れていることなどが考えられます。

次に、図書館の指定管理者について、市の計画を把握しているかということですが、指定管理者と市が取り交わしている「指定管理基本協定書」において、市の総合計画や第3次美唄市子ども読書活動推進計画などに基づいて業務を実施することとなっており、指定管理者も計画については把握しているところでありますが、一部の施策において、十分な進捗が図られていない状況から、教育委員会としましては、指定管理者と連携しながら計画の推進を図ってまいりたいと考えております。

次に、図書館から学校など各施設との連携などについてですが、学校配本事業や、小学校の希望に合わせた移動図書館の巡回、学校や各施設での読み聞かせなど、学校図書にない本を読むことや、様々な本と出会う機会を用意するなど、子どもたちの読書活動の普及に向け、連携しながら進めておりますが、図書館司書による学校図書館への支援などについては、十分な進捗が図られていない面があるところです。

いずれにしても、学校や各施設の意見に耳を傾けながら、より良い読書環境の構築に向け、指定管理者と連携を図りながら、計画の推進に取り組んでまいりたいと考えております。

平成 31 年 第 3 回 定例会 一般質問

森 明人議員

教育委員会生涯学習・スポーツ振興課

- |     |     |                         |
|-----|-----|-------------------------|
| 件 名 | 1   | 美唄市立図書館について             |
| 中項目 | (2) | 指定管理者制度導入による利用状況の変化について |

質問内容

民間事業者の持つノウハウを生かした企画・展示・イベント等様々な住民サービスが行われているが、具体的な取組はどのようなものがあるか。

また、指定管理者制度導入前と導入後の市民一人当たりの年間平均貸出数も伺いたい。

答弁内容

（指定管理者制度導入による利用状況の変化について）であります  
すが、

はじめに、指定管理者が取り組んでいる独自事業は、図書宅配サービスとインターネット予約サービスの 2 つがあります。宅配サービスは、開始後から令和元年 7 月までに 605 冊の貸し出しがあり、予約サービスは、これまで 90 冊の予約申し込みに対応しており、それぞれ徐々に利用が増加している状況であることから、今後さらに市民に浸透していくものと期待しております。

また、指定管理者において、今年 7 月に市民が参画するイベントの実行委員会に独自に参加し、絵本などの特別展示を行うなど、新

たな活動にも取り組んでいるところです。

次に、指定管理者制度導入前と後の市民一人当たりの年間平均貸出数についてですが、導入前の平成 29 年度末では、3.2 冊で、導入後の平成 30 年度末は、3.1 冊となっています。人口減少を考慮しても数値が下がっていますが、今年度の 4 か月で利用増の傾向があるため、今後、利用冊数の動向について注視してまいります。

平成 31 年 第 3 回 定例会 一般質問

森 明人議員

教育委員会生涯学習・スポーツ振興課

件 名           1     美唄市立図書館について

中項目          (3)    図書館利用者に対する利用実態及びニーズ等  
                          の把握について

質問内容

図書館の利用実態・利用者の要望等を把握するため、アンケート等を実施し、要望等を反映させているのか。要望等は把握しているのか。苦情の様子なども併せて伺う。

答弁内容

（図書館利用者に対する利用実態及びニーズ等の把握について ）  
であります、

平成 30 年 12 月 14 日から 27 日までの 13 日間で、指定管理者において、「美唄市立図書館利用者アンケート調査」を実施しており、その期間中に、84 名の利用者から回答を得られております。

その主な内容は、利用者のうち、40 代が 21%で最も多く、女性が 67%、市内からの利用が 97%、来館の目的が「本や雑誌の借受・返却」が 47%になるなど、の結果が得られています。

今後とも利用者の動向に注視しながら、アンケートを続けてまいりたいと考えております。

利用者のニーズとしては、充実してほしい本のジャンルとして、「小説・エッセイ」が 17%と最も多く、「地理・歴史」、「家事・

生活情報」、「児童の読み物」なども多く挙げられています。

その他、自由記載の欄には、「司書の方がやわらかさがあって好印象だった」、「借りたい本が見つからない時、丁寧に探してくれた」など、高評価がある一方、「全体的に暗い感じがする」、「他の施設を参考にして大きく変えてほしい」、「エアコンを用意してほしい」など、設備面の要望や苦情もありました。

なお、エアコンについては、今年度雪冷房を利用した設備を導入しており、一部は対応しているところですが、今後もより良い利用環境の整備に向けて、改善に努めてまいりたいと考えております。